



市報 そ お

特集

平成26年

曾於市成人式

主な内容

平成26年曾於市成人式……………	2	お知らせ……………	18
鬼追い……………	6	環霧島探訪……………	24
青少年リーダー研修in九重……………	7	健康コラム・せり市結果……………	25
行政information……………	8	戸籍の窓……………	26
話題の広場……………	13	くらしの情報……………	27
図書館だより……………	17		



曾於市成人式

20歳の門出 新たな誓いを胸に

434人の新成人が誕生

平成26年曾於市成人式が1月3日に末吉総合センターで開催されました。今年の新成人は434人（男204人、女230人）です。当日は、339人が出席し、晴れ着やスーツなどに身を包んだ新成人たちで会場は華やかな雰囲気になりました。

式典では、馬場雅子教育委員長が式辞を述べ、EXILEのATSUSHIさんの話を例に「自身の夢や目標を定めること

の素晴らしさ」が新成人に伝えられました。また、五位塚剛市長は「自分の夢、目標達成のためには受け身ではなく、積極的に行動してほしい」と激励しました。

式典終了後には成人式実行委員会の企画による、中学校時代の恩師からのビデオレターの上映や、都城少年少女合唱団による公演も行われ、会場を盛り上げました。





幼なじみ同士で成人の記念写真です。



会場の外では、友人や家族と写真を撮る風景が見られ、賑わっていました。



色鮮やかな振り袖に身を包み
晴れやかな笑顔を見せる新成人たち



新成人を代表してあいさつをする実行
委員長の東恒輝さん

■曾於市の新成人の推移（人）

年	人数
平成 18 年	639
平成 19 年	631
平成 20 年	613
平成 21 年	542
平成 22 年	524
平成 23 年	490
平成 24 年	490
平成 25 年	461
平成 26 年	434



市長から記念品の贈呈



司会を務めた山之内さんと
山川さん

二十歳の誓い

成人式実行委員の皆さんに
二十歳の決意を聞きました。

松村 佑磨さん(末吉中学校卒)



無事に成人を迎えることができ、嬉しく思います。

四月から社会人になるので、社会人の自覚をもち、何事にも挑戦する気持ちで、積極的に物事に取り組んでいきたいと思えます。なぜベストを尽くさないのか？

坂元 恵理さん(南之郷中学校卒)



成人を迎えることができ嬉しいです。就職活動が始まるので、しっかりと勉強し、今まで以上に頑張っていきたいです。

これからの人生どんな事があっても乗り越えて一歩ずつ歩んでいきたいです。また家族に恩返し出来るよう努力し、身近にいてくれる方々を大切にしていきたいです。

山川 友里恵さん(大隅中学校卒)



新成人の皆さん、おめでとうございます。私も無事に成人を迎えることができ、今まで支えてくれた方に感謝します。大人の仲間入りをしたので、これからは、自分の行動に責任を持ち、社会人として成長していきたいと思えます。

久保 夏美さん(財部中学校卒)



新成人の皆さん、本当におめでとうございます。成人を迎えることができ、多くの方々にお祝いしていただき、嬉しく思います。

目標は、人に恥じることない素敵な大人になることです。その目標に向けて、日々努力していきたいと思えます。

堀内 大樹さん(財部北中学校卒)



私はまだ学生ですので社会には貢献していませんが、財部出身の人間として、これから社会に貢献できるように人材になりたいと思えます。同級生には、すでに社会人として頑張っている人も沢山いるので、追いつけるように頑張りたいです。

山下 実夏さん(財部南中学校卒)



皆さん成人おめでとうございます。わたしは春から社会人になります。仕事をこなせるように努力し、しっかりとした大人になりたいと思えます。

みなさんも家族や友達などとのつながりを大事にして、これからの生活をより充実したものにしていきましょう。



式を盛り上げた実行委員会企画アトラクション



華やかな中にも整然とした式の進行

新成人代表あいさつ

(一部抜粋)

本日は、成人を迎えた私たちのために、このような盛大な式典を開催して頂き、誠にありがとうございます。

本日を無事に迎えることができたのは、私たちを温かく見守り、時には厳しく愛情をもって接してくれた家族。共に勉学に

励み、困ったときにはいつも助けてくれた友人たち。そして、今日まで関わり合ってきたすべての方々のお力添えがあつてこそだと思いません。その感謝の心を忘れることなく、これから社会を担う一員として責任と自覚を持ち、日々まい進していきます。

今日、社会の現状が決して良いものだと言えない中、内之浦から打ち上げられたイプシロンは初の純国産ロケットとして、



成人式実行委員長
ひがし こうき
東 恒輝さん

多くの希望と感動を残し、日本の高い技術力を世界に証明してくれました。近い将来、宇宙旅行が当たり前の時代がやってくるかもしれません。ほんの数年前には誰もが予想していなかっただろうと思います。そのような「未来の希望」になれるよう、私たちも努力していかなければいけません。

今の安定した生活は、多くの方々のおかげで成り立っていると思います。今まででいただいていた分を、今度は私たちが担っていく順番になりました。ひとりの力は微々たるものですが、力が合わされば大きな成果を生むことができます。これからの日本を動かす原動力となれるよう、一生懸命頑張っていきたいと思えます。

最後になりましたが、私たちは無事に成人としての節目の日を迎え、新たな一歩を踏み出すことができました。しかし、私たちはまだまだ未熟であり、学ばなければならぬことが数多くあります。皆さまからのかわらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



末吉地区

成人式記念写真



大役を終えて、安堵の笑顔を見せる実行委員



大隅地区



財部地区

奇習 鬼追い



正月7日の夜、深川の熊野神社領域で県指定無形民俗文化財の「鬼追い」が行われました。

鬼追いは、仏に罪を告白し悔い改め、国家安泰や五穀成就を祈る仏教行事です。深川の鬼は、「招福除災の鬼」とされています。男鬼、女鬼、子鬼の三匹が境内の鬼堂から飛び出し、熊野神社領域を暴れまわります。鬼が暴れるほどその年は、五穀豊穡になると言われています。また、鬼が持つ「鬼の手」で叩かれた人は一年を健康に過ごせると言われており、これが「奇習」といわれる由来になっています。

当日は、観光特産開発センターによる観光ツアーも実施され、境内や参道は多くのお客さんで埋め尽くされました。

ひよっとこ踊り、鬼神太鼓の奉納演奏が行われた後、午後8時から鬼追いがスタート。半鐘や空砲が激しく鳴り響く中、三匹の鬼は熊野神社領域を縦横無尽に暴れまわりました。鬼が姿を現すと、歓声と共に御幣を求めて多くの人が果敢に鬼に群がり、鬼の手で叩かれなが

らも御幣を手にしていました。市内から初めて参加した佐野翔多朗さん（11才）は「本物の鬼は、テレビで見るとは違って、御幣もとれました。最初は恐かったけど、御幣もとれました。来年も参加したいです」と笑顔で話しました。



御幣を手にした佐野翔多朗さん（左）



縁起が良い豆の振る舞い

曾於市青少年リーダー研修 in 九重



曾於市青少年指導員会と教育委員会はたくましく、やさしい心をもったリーダーの育成を目的とした「曾於市青少年リーダー研修」を、年間複数回のプログラムで行なっています。

今回は、12月21日から23日の3日間、研修生29名（市内小学生）が、大分県九重町で宿泊研修を行いました。

一日目は、大野勝彦美術館を見学後、九重青少年の家に入所。昨年から交流のある伊仙町の「いせんチャレンジ隊」と合流し、プラネタリウム鑑賞などで互いの親睦を深めました。

二日目は、本研修のメインであるスキー体験。研修生の大半が初めてのスキー体験とあって、最初は転倒する姿が多く見られました。しかし、練習を重ねるうちに、みるみる上達していききました。夜には、キャンドルファイヤー・レクリエーションを行い、身体と心を温めるとともに、仲間との友情・絆を深めました。

三日目は、九重青少年の家を退所後、九重夢大吊橋や阿蘇ファームランドを訪れ、曾於市

に帰着。二泊三日の研修を無事に終えました。

スキーや「いせんチャレンジ隊」との交流など、様々な体験を通して、たくましく成長した研修生。その姿は、とても大きく頼もしく見えました。



幻想的なキャンドルファイヤー



スキーを練習中

副市長に八木達範氏・大休寺拓夫氏が選任されました

平成25年12月24日に開かれた市議会で副市長の選任が同意され、25日に新副市長二名が就任しました。



やぎ たつ のり
八木 達範

現在、地方自治運営は、厳しい財政状況のなかにあり、国、県に頼らなければならぬ現状にあります。

市民一人ひとりが支え、助け合える環境づくりと、市の財産である「人・土地・農作物・畜産」を活かした元気な町づくりの実現と、市民福祉向上のため、誠心誠意努力する所存であります。

市民の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

■経歴

宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校卒、昭和48年大隅町役場入庁、平成12年曾於北部衛生処理組合事務局長、平成13年畜産課長、平成14年教育委員会総務課長、平成17年曾於市教育委員会教育次長兼総務課長、平成19年大隅支所長兼地域振興課長、平成22年3月定年退職



だいきゆうじ たくお
大休寺 拓夫

今、人口増加の対策は喫緊の課題です。健康寿命の延伸や自助・互助・共助・公助で共に支えあう地域づくりに尽力します。

また、若者にとって魅力ある町となるように、住環境・子育て環境の充実や農家所得の増加、雇用の確保などに全力で取り組んでまいります。

市民の皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

■経歴

宮崎大学卒、昭和55年末吉町役場入庁、平成20年曾於市末吉支所保健福祉課長、平成23年保健課長、平成25年12月24日退職

教育委員に長野かおり氏が選任されました。

本市の教育委員人事が、平成25年12月24日に開かれた市議会の同意を得て決まりました。



ながの
長野 かおり氏

長野かおり氏は現在48歳。京都府立大学卒業です。財部南小学校のPTA副会長を2年務めた他に、財部南校区公民館運営審議会委員や曾於市青少年指導員を務められました。また、子供たちにお話を届けるボランティア活動が続けているなど、曾於市の教育に尽力されています。今回、曾於市の教育委員として任命されました。

また、12月26日付けで、植村和信教育長が退任されました。植村教育長は、曾於市の初代教育長として、「そお黒牛三つの教え」を行動目標に、チャレンジ・ザ・日本一事業の開始、市内の小中学校全クラスへの電子黒板の設置など、本市教育の発展に大きく貢献されました。



子育てふれあいひろば

25日は身体測定・健康相談です。母子手帳を持参してください。

お問い合わせ先

曾於市子育て支援センター ☎ 0986-76-6565 (直通)
子育て携帯サイトすまいるキッズ <http://www.smile-kids.jp/sooshi>



日	月	火	水	木	金	土
						2/1
2	3	4 ひろば	5 ひろば	6 親子	7	8
9	10 講座	11 建国記念日	12 ひろば	13 講座	14	15
16	17	18 ひろば	19 ひろば	20 親子	21	22
23	24	25 ひろば	26 講座	27 親子	28	

◆パクパクッキング (2月10日)
対象 就学前のお子さん
講師 市役所栄養士
準備する物 エプロン、三角巾

◆フラワーアレンジメント (2月13日)
講師 片平幸美さん
参加費 八〇〇円
申込期限 2月7日(金)
※限定10組です

◆親子ビクス (2月26日)
対象 就学前のお子さん
講師 田鍋いづみ先生

※子育て支援センターは、キッズルーム開放・育児相談を実施しています。

キッズルーム開放 午前10時～午後3時(月曜日～金曜日) 育児相談 午前9時～午後4時(月曜日～金曜日)

親子ふれあい遊び 午前10時～11時30分 ●会場：生きいき健康センター

子育てひろば 午前10時～11時30分 ●会場：大隅弥五郎伝説の里 ●会場：財部保健福祉センター

育児講座 午前10時～11時30分 ●会場 10日：大隅弥五郎伝説の里 13日：生きいき健康センター
26日：財部保健福祉センター

国民年金のはなし

お問い合わせ先

市民課・各支所地域振興課 末吉 ☎ 0986-76-8805 大隅 ☎ 099-482-5923 財部 ☎ 0986-72-0934
鹿屋年金事務所 ☎ 0994-42-5121

年金移動相談所開設日

期日	時間	場所
2月6日(木) (予約受付中)	午前10時 ～ 午後3時	本庁(末吉) 1階会議室

鹿屋年金事務所による移動相談所が開かれます。日程・場所は上記のとおりです。
相談は無料ですが、予約が必要です。
予約のない方の相談はできませんので、ご了承ください。

○国民年金保険料収納業務の民間委託について
日本年金機構では、国民年金保険料が未納になっている方への電話や文書、戸別訪問による保険料収納業務などについて、民間委託を実施しています。
鹿児島県の民間事業者は「キャリアリンク株式会社」です。

○国民年金保険料は、便利・安心・確実な口座振替で
国民年金保険料の納め忘れはありませんか。納付には、便利で安心、確実な口座振替をおすすめします。
口座振替は、全国の金融機関で利用できます。
ご希望の方は、市役所国民年金係または年金事務所にお申し込みください。
またクレジットカードでの支払いも可能です。

必要なもの
年金手帳・通帳・口座届出印
※口座振替・クレジットカードでの納付が開始されるまで、申し込んでから2カ月ほどかかります。

平成 26 年度奨学生を募集します

曾於市奨学金制度をご利用ください

お問い合わせ先

教育委員会 総務課 ☎ 099-482-5956 末吉分室 ☎ 0986-76-8814
財部分室 ☎ 0986-72-0945



資格要件

- 保護者が2年以上市内に住所を有し、今後同居する見込みであること
- 在籍する学校長の推薦があること
- 優秀かつ健康であって、学資の支弁が困難であること

貸与期間

申請年度から在学する学校の正規の修業期間（通算7年限度）。毎年度更新が必要です。

償還（返済）時期

卒業の日から起算して7カ月目から貸与年数の2倍の期間内（10年以内）に返還することになります。（無利子）

申請書交付

申請書は、3月14日（金）から教育委員会総務課（大隅支所3階）、末吉分室（末吉中央公民館）、財部分室（財部中央公民館）で交付します。

申請書受付

3月14日（金）～4月25日（金）
教育委員会総務課及び各分室で受け付けます。

貸与区分・貸与額

区 分	奨学金の額
高等学校	月額 10,000 円
専門学校（専門課程） 高等専門学校 短期大学 大学または大学院	月額 40,000 円

第3子出産祝金について

第3子以降に10万円の祝金を支給します

お問い合わせ先

財部 福祉事務所 ☎ 0986-72-0936 末吉 保健課 ☎ 0986-76-8807
大隅 保健福祉課 ☎ 099-482-5925



大隅支所



本庁



財部支所

支給資格

曾於市では、少子化対策の一環として第3子以降に生まれたお子さんに対して、1人あたり10万円の祝金を支給します。

曾於市の住民で出産後3カ月以上、曾於市に生活の根拠を置いている方

申請書

本庁・各支所に申請書がありますので、必要事項をご記入のうえ、提出してください。

なお、申請してから支給までは約3カ月間かかります。

※写真は、12月25日に本庁・各支所で行われた支給の様子の様子

税チャンネル ～納税があなたを支えます！～

お問い合わせ先

税務課・各支所地域振興課 税務係

末吉 ☎ 0986-76-8804 大隅 ☎ 099-482-5922

財部 ☎ 0986-72-0932

また、軽自動車税の身体障害者等減免は、身体障害者本人が所有者（身体障害者本人が18歳未満もしくは精神障害者の場合は生計を一にする者でも可）となる車両が対象となります。

車種 排気量	手続き場所
原動機付自転車 125cc以下	市役所税務課、各支所地域振興課税務係 ※曾於市（大隅町・財部町・末吉町）のナンバープレート、印鑑をお持ちください。
小型特殊自動車	
軽三輪車・軽四輪車 660cc以下	鹿児島県軽自動車協会 ☎ 099-261-4011
軽二輪車 125ccを超え250cc以下	
二輪の小型自動車 250ccを超えるもの	九州陸運局鹿児島運輸支局 ☎ 050-5540-2089

軽自動車の名義変更はお早めに
軽自動車税は毎年4月1日を基準日として、車両の所有者に課税されます。売買などをしていても名義を変更していない方は手続きをしてください。お問い合わせについては表のとおりです。

「**タイヤロック**（差押え）」については、昨年の12月、滞納者に対し軽自動車の「**タイヤロック**（差押え）」を行いました。
「**タイヤロック**」とは、自動車や原動機付自転車の前輪にタイヤを固定する器具を装着することです。その際、ミラー部分に「**差押公示書**」を取り付け、差し押さえます。その後、納付がない場合は、公売により売却して滞納税にあてます。
地方税法では、「滞納者が督促状を発送した日から10日を経過した日までに完納しない場合、滞納者の財産を**差し押さえないければならない**」となっています。
実際には、催告書の発送や電話での催告、訪問等により納税を促しています。それでも完納されない場合は、来庁要請、差押予告等を発送します。その上で、相談や納付がない場合は「**差押え**」という強制処分を行います。
※「**タイヤロック**」は、軽自動車税だけでなく、全ての市税の滞納が対象です。



差押えの対象には、預貯金、給与、生命保険、動産、不動産等があり、曾於市では、昨年4月から12月の間に約240件を執行しています。
差し押えとなる前に、必ず納付してください。納付が困難な場合は税務課へ相談してください。

また、納税相談により納付の誓約をしたにもかかわらず履行されない、完納のめどが立たない、年々滞納額が増加傾向にある方に対しては、来庁要請書を発送します。それらに応じない方は、分納誓約をしていますが、滞納処分の対象となります。

今月（2月）の納期について

- 国民健康保険税 9期
- 介護保険料 9期
- 後期高齢者医療保険料 9期

※口座振替をされている方は、**2月28日**に振替えますので残高のご確認をお願いします。

公園の名称を募集します

大隅町境木町（八合原）の公園が3月に都市公園へ生まれかわります

お問い合わせ先

大隅支所建設水道課

☎ 099-482-5953 FAX 099-482-4690



大隅町境木町にある児童公園が新たに整備され、今年3月に都市公園として生まれ変わります。

そこで、より多くの市民の皆さんが親しみを感じていただき、ご利用いただけるようにするため公園の新名称を募集します。

曾於市らしい名前、ユニークな名前など、たくさんのお応募をお待ちしています。

対象となる公園

曾於市大隅町境木町84番地

(通称「あけぼの公園」)

応募方法

必要項目を記入の上、大隅支所建設水道課へ提出してください。郵送やFAXなど、提出方法については問いません。

記載事項

- ①公園の名称
 - ②名前の理由や由来
 - ③氏名
 - ④生年月日
 - ⑤住所
 - ⑥電話番号
- 応募締切
平成26年2月25日（火）



平成25年度 市民ウォーキング

日時 平成26年2月10日(月)(雨天決行) 午前9時～

集合 末吉鉄道記念館(旧末吉駅)

コース 末吉鬼追いコース

持参する物 運動できる服装、ウォーキングできる靴、リュック、帽子、飲物等

お問い合わせ 曾於市役所保健課健康増進係 ☎ 0986-76-8806



ご寄附がありました (12月受付分)

●曾於市思いやりふるさと寄附金 (ふるさと納税)

14件 135万円8千円

この寄附制度は、平成20年度に始まり、平成25年12月末時点で、

215件

2018万9965円

となっております。寄附者の意向に沿った事業に活用させていただきます。

●山中貞則顕彰記念事業寄附金

27件 661万円

この寄附金は、末吉町深川の故山中貞則先生の自宅を購入し、顕彰記念館として管理運営していく経費に活用させていただいています。平成22年度に始まり、平成25年12月末時点で、

364件

2億5851万7827円

となっております。寄附金目標額は、5億円です。

*市では、ご厚意に深く感謝申し上げます。有効に活用させていただきます。



世代、地域を越えた交流を



おごじよパワーと芋ザイル

12月12日、末吉総合センターで「やる気・元気・おごじよパワーイベント2013」が開催されました。これは、農家の女性を中心として平成10年に始まり、今回で16回目を迎えました。今年、串間市の甘藷農家で結成されたパフォーマンスユニット「芋ザイル」が講師に招かれ、講演とパフォーマンスで会場を盛り上げました。また、恒吉青年団も農業をテーマとした劇を披露しました。会場には、若手農家が多く集まり、世代、地域を越えて楽しく交流を深めていました。

郷土の素材を活かした商品開発



商品を手にする家庭クラブのメンバー

財部高校の生徒が開発した「ユズかるかん」と「紫いもかるかん」が、昨年12月から道の駅たからべで販売され、好評を集めています。開発に携わったのは、同校家庭クラブの12名。道の駅から「かるかんを作って欲しい」と依頼を受け、全校アンケートの結果を元に、素材を決定。ユズの酸味を中和させるために白玉を入れるなど、高校生のアイデアが詰まった一品です。一年生の川路彩乃さんは「皆さんが美味しく食べてくれることが嬉しいです」と話しました。

霧島ジオパークトレッキングで爽快



ジオサイトを観察しながら12キロを完歩

12月14日、霧島ジオパークを巡るトレッキングが開催されました。これはジオパークの魅力を広めようと、市観光産開発センターが都城市などと共同で平成24年から行っています。当日は60名が参加。観光ガイドの解説を聞き、地質や植物を観察しながら大川原峡から関之尾滝まで約12キロを歩きました。参加者からは、「財部のジオサイトの美しさに感動した」、「地質の説明が分かりやすく勉強になった」との声が聞かれ、ジオパークの魅力が十分に伝わったようでした。

笑って健康に過ごそう



ケーシー高峰さん（左）、三遊亭歌之介さん（右）

12月21日、財部きらめきセンターでケーシー高峰さんと三遊亭歌之介さんによる「二人会」が行われました。テレビなどでおなじみの二人とあって、会場には、早い時間から多くのお客さんが集まりました。ステージが始まると、歌之介さんの鹿兒島弁を使つての落語、ケーシーさんの医療漫談に、満員となった会場は爆笑の渦に巻き込まれました。歌之介さん、ケーシーさんが共にステージで話した「笑うことで健康に」を実感できる一日となりました。

「人権の花」運動閉校式



岩北小学校児童 17 名と岩北幼児学園の園児 5 名

12月13日、岩北小学校で「人権の花運動」の閉校式が行なわれました。式では、ひまわりの写真を見ながら駒走校長が活動をふり返り、五位塚市長と山人権擁護委員が、「相手の身になって考え行動してください」と話されました。また、法務局より感謝状と人権まもる君、人権あゆみちゃんのぬいぐるみが贈られました。学校を代表して6年生の榮森みづえさんが「この活動をきっかけに人権について考えていきたい」と決意のこぼを述べました。

ねりんピック



左から徳増さん、須田さん、西村さん

ねりんピックよさこい高知2013（昨年10月末、高知県で開催）の彫刻部門で、岩崎の徳増徳雄さんの作品が高知県知事賞（最優秀賞）に輝きました。徳増さんは「生涯学習講座で学んだ成果を、周りの方に認めていただいた結果でしょう。今後も曾於市の文化芸術を広めていきたい」と受賞の喜びを話しました。また、来年度のねりんピック（栃木県）には、今年度の県シルバー文化作品展で上位入賞された須田久さん、西村哲美さんの作品が出品されます。

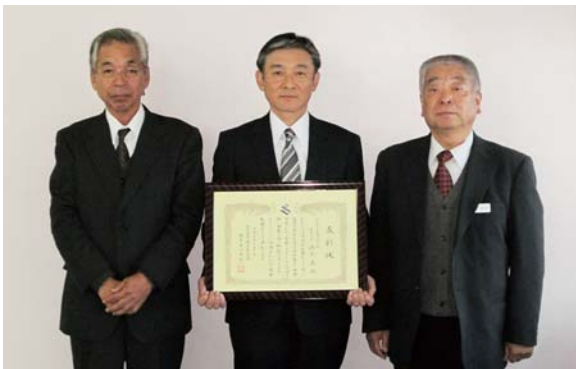
サンタがやってきた



サンタクロースからプレゼントをもらう子ども

12月17日から19日の三日間、曾於市子育て支援センターが市内三つの会場で「クリスマス会」を行い、延べ80組の親子が参加しました。当日は、エプロンシアターやハンドベルの演奏、ブラックシアターなどを親子で楽しみました。また、サンタクロースとトナカイが登場すると、子どもたちはおどろきながらも、笑顔でプレゼントを受け取りました。最後には、サンタ、トナカイと仲良く記念撮影をしました。皆の印象に残るすてきな一日になりました。

県優秀教職員表彰



表彰を受けた徳石さん（中央）

11月29日、大隅支所で県優秀教職員表彰の伝達式が行われました。この表彰は、学習指導や生徒指導、学校保健などの各分野において、顕著な実績のある教職員の功績を表彰し、意欲及び資質能力の向上に役立てることを目的として実施しているものです。今回、学校事務分野で表彰を受けた大隅北小学校事務職員の徳石透さんは、「多くの先輩方や関係者の皆さま方のご指導に感謝しています。今後も教育条件の整備に努めていきます」と話しました。

子供たちへ鴨肉を提供



つみれ汁を美味しく食べる児童たち

日本有機株式会社(にほんゆうき)が末吉小学校と末吉中学校へ薩摩鴨の肉を提供し、12月10日(末吉小学校)、12日(末吉中学校)に学校給食として児童、生徒へ振る舞われました。これは、DHAを含む鴨肉を、成長期の子供たちに食べてもらおうと行なわれたものです。

末吉小学校では、つみれ汁に調理されました。鴨肉を食べるのは初めてという児童が大半で、5年生の橋満伶王(はしつるれお)さんは「初めて食べましたが、柔らかくて美味しいです」と話しました。

おいしいお米をみなさんに



コンテストで最優秀賞、優秀賞に輝いた方々

12月26日、市長室で「第6回曾於市米自慢コンテスト」の表彰式が行われました。審査は三つの部門に分かれており、合計で97展の応募がありました。最優秀賞、優秀賞の6名が表彰されました。

- 部門別受賞者は次のとおりです。
- 普通作の部最優秀賞 優秀賞 久保善伸さん(くぼよしのぶ)
 - 減農薬の部最優秀賞 優秀賞 川崎利也さん(かわさきとしや)
 - 無農薬の部最優秀賞 優秀賞 長野修治さん(ながのしゅうじ)
 - 優秀賞 徳留温子さん(とくどめあつこ)
 - 優秀賞 松ノ下幸人さん(まつのしたゆきと)
 - 優秀賞 桐原 勉さん(きりばら つとむ)

伝統行事の火を大切に



豊作を願い元気に地面をたたきます

1月13日、末吉町南之郷の久保集落で、伝統行事「久保のもぐらうつ」がありました。「もぐらうつ」はワラをまいた竹で家先などをたたいてまわり、豊作を祈る小正月の行事です。かつては市内各地で行われていましたが、現在では久保に残すのみです。

久保の小学生は田畑亜理紗(たばたありさ)さん一人。伝統行事を絶やしてはいけないと、今年から穂小学校に協力を呼びかけたところ、25人の児童が集まりました。田畑さんは「この行事が続いて欲しいです」と話しました。

歳末助け合い運動



募金を呼びかけるボーイスカウトたち

12月23日、市内のボーイスカウト、ガールスカウトがスーパードルなど四カ所で歳末助け合い募金活動を行いました。この奉仕活動は、同団が発足した昭和44年から、毎年行われていました。当日は、22名の団員が募金を呼びかけ、約七万円のお金が集まりました。集まったお金は、共同募金とユニセフに寄付されます。

募金を呼びかけた鮫島圭敦(さめしまのりあき)さん(15才)は「外は寒かったけど、募金を頂いたときに、とても温かい気持ちになりました」と話しました。

細く長いそばを打とう



講師のそば打ちに見入る参加者

市観光特産開発センターと中谷地区むらづくり委員会が、そば打ち体験を12月15日（大隅）と22日（末吉）に開きました。これは、つなぎなし、そば粉100パーセントでも、細くて長く美味しいそばが打てることを広く知ってもらおうと、平成23年から行われています。

両日合わせて43名が参加。皆、講師の説明を熱心に聞いていました。今まで自己流で打っていたという方は「丁寧な説明を受けて打ったら、コツがつかめました」と満足していました。

吹奏楽フェスティバルを開催



素晴らしい演奏を披露

12月15日、「第3回曾於市吹奏楽フェスティバル」が、末吉総合センターで開催されました。当日は、市内の小中学校や高校、メセナ楽団の10団体が参加。吹奏楽、金管バンド、リコーダー演奏を始め、中学生個人が作曲した曲を演奏するなど、日頃の練習の成果を披露しました。

講師の長瀬義人氏は、「各団体がそれぞれに工夫し、素晴らしい演奏をしていました。みんなが大人になってもしっかりと楽器に携わってください」と講評しました。

地域に出向いてのコンサート



演奏のプレゼント

12月1日、メセナ楽団が主催する「ウインターコンサートin柳迫」が、柳迫小学校で開催されました。このコンサートは、メセナ楽団がより多くの皆さんに音楽を楽しんでもらいたいと、市内各地域に出向いて行っている演奏会です。

当日は、「日本の四季」や「スーパーマリオブラザーズ」など多くの人に馴染みのある曲の演奏や、使っている楽器の紹介などがありました。集まった地元の小学生や保護者たちは、笑顔で演奏を楽しんでいました。

天高く放水



色鮮やかな水が一斉に放たれます

新春恒例の消防出初式が1月12日に栄楽運動公園で行われました。

まずは、市内全団員と消防車輛が市中をパレード。式典では、統率のとれた通常点検や小隊訓練が披露されました。また、全分団による分列行進の後、功績のあった団員やその家族に対して、表彰状や感謝状が授与されました。

式典は一斉放水で締めくくられました。天高く放たれた色鮮やかな水に、訪れた観衆からは歓声があがっていました。